



みどりの風

<http://sumiyoshi.shibata.ed.jp/>

TEL0254-24-1148

体験活動と手書きのノートの効用

教頭 臼井 政之

理科の授業では、予想（仮説）⇒実験や観察⇒考察という一連の流れがあります。これは、私が小学生だった時代も今も変わりません。社会の授業では、消防署や浄水場、ごみ処理場などに見学に行きインタビューをします。これについても、昔も今も変わりません。ウイルス禍を経て、ICT機器やデジタル技術が急速に進歩しました。今や様々な情報は、直接体験しなくても得ることが可能です。それなのに、授業のやり方は基本的には変わってはいません。なぜなのでしょう。

12月5日、経済協力開発機構（OECD）は、2022年に実施した学習到達度調査（PISA）の結果を公表しました。世界81か国69万人の高校1年生（15歳）を対象にした調査です。この結果から、日本

- | | |
|------------|----|
| ・ 数学的リテラシー | 5位 |
| ・ 科学リテラシー | 2位 |
| ・ 読解力 | 3位 |

の高校生の学力が世界的に見ても高いことが分かります。要因の1つとして、日本の休校期間が他国に比べて短かったことが挙げられます。これは、自宅での動画視聴やオンライン学習よりも、学校でのリアルな場での学びの方が記憶が定着しやすいことを示しています。

人は、物事を覚えるときに様々なことを紐づけして記憶します。言葉や数字はただの記号の羅列ですが、ストーリーとして意味づけ、色やイラストなどの視覚情報や発音などの音声情報と一緒にすることで、忘れにくく思い出しやすくなるのです。今も昔も変わらず、授業の中で体験活動が重視されるのは、「五感を使う」「ストーリーやエピソードとして意味づける」ことで記憶の定着が図られるからです。私自身、小学校時代に体験した出来事は思い出せても、高校時代にテスト勉強で丸暗記した内容は一切思い出すことができません。

学習効果を向上させる方法は、他にもあります。私が注目しているのは「手書きのノート」です。アメリカのプリンストン大学とカリフォルニア大学の研究によると、講義のときに手書きでノートをとる学生は、パソコンでノートをとる学生よりも記憶の定着がしやすく成績もよいということが分かっています。手書きの場合、内容を自分なりに取捨選択したり要約したりする作業が入ります。また手書き特有のビジュアルも記憶定着の手助けになっているようです。脳神経内科医の長谷川嘉哉氏によると、手書きで記述する際に前頭葉や海馬など脳の広い範囲を使うため、神経ネットワークが高度な状態に維持されるそうです。確かに、パソコンのキーを打つシンプルな動作と比べて、複雑な文字を書き進める動作は面倒に感じますが、その分脳に負荷がかかっている気がします。手指の複雑な運動は脳を刺激し、情報をより長期間記憶することができるのです。

悲しいことですが、昔のことは思い出せても最近の記憶を鮮明に思い出せなくなりました。五感を使って体験したり、手書きで記述したりする機会が減っていることが理由だと思います。デジタルに頼りっぱなしの日常から脱却し、視覚、聴覚、味覚、臭覚、触覚を使ったアナログ生活を復活させることで、脳を活性化させたいと思います。

【2月後半と3月の主な学校行事の予定】

【2月】

- 12日（月）振替休日
 13日（火）6年生交流遊び
 14日（水）読み聞かせ（1，2年生）
 特別時程全校5時間
 16日（金）新1年生保護者説明会
 新1年生1日入学
 19日（月）4～6年生6時間授業
 20日（火）第3回学校評議員会
 22日（木）6年生を送る会
 23日（金）天皇誕生日
 27日（火）読み聞かせ（3，4年生）



【3月】

- 1日（金）街頭指導
 4日（月）委員会
 6日（水）全校朝会
 11日（月）期末清掃①
 12日（火）授業4時間
 13日（水）授業4時間・期末清掃②
 14日（木）授業4時間
 15日（金）授業4時間・給食最終日
 18日（月）、19日（火）授業3時間
 20日（水）春分の日
 21日（木）3学期終業式
 22日（金）卒業式
 25日（月）離任式
 26日（火）学年末休業（～31日）



子どもたちの頑張りを紹介します！

第54回新潟県ジュニア美術展覧会

優秀賞	1年	5年
奨励賞	1年	1年
	2年	5年

第19回新潟教育アート展

優秀賞	3年	3年
奨励賞	1年	2年
	2年	2年
	2年	2年
	2年	2年
	4年	4年
	4年	5年
	5年	

第42回全国児童画コンクール（ウオロク主催）

優秀賞	3年
入選	2年

